


運輸安全委員会 船舶事故分析集 (平成30年度版)

～船舶事故調査から得た教訓～

公益財団法人
海難審判・船舶事故調査協会

 JTSB 運輸安全委員会 監修

まえがき

運輸安全委員会では、教訓とすべき事故事例、及び各種統計に基づく分析などの内容を充実させることで、事故の再発防止・啓発に向け関係者に役立つことを目的として、「運輸安全委員会ダイジェスト」を発行しています。

平成30年度においても、「遊漁船の衝突事故防止に向けて」及び「楽しいレジャーに潜む事故！ ～バナーボートなどの浮体をえい航中の事故が急増、ジェット噴流による死傷も～」とのテーマで事例紹介や各種統計に基づく分析を行っています。

また、運輸安全委員会事務局各地方事務所でも、それぞれ特色のある海域、船舶種類または事故種類などにテーマを絞って事故原因等の分析及び事故事例紹介を行っています。

今般、平成30年度に運輸安全委員会が公表した「運輸安全委員会ダイジェスト」2件と各地方事務所が公表した各分析7件を一冊に集約した、「運輸安全委員会船舶事故分析集(平成30年度版)～船舶事故調査から得た教訓～」を発刊しました。

本書によって、運輸安全委員会が取り組んでいる科学的な事故原因究明に基づく再発防止策及び人的被害の軽減策の内容が、海事関係者において、安全運航の一助となれば幸いです。

公益財団法人
海難審判・船舶事故調査協会

も く じ

1. 運輸安全委員会の調査対象となった船舶事故等の状況	1
1.1 過去5年間における船舶事故等の発生状況	1
1.2 事故等種類別及び船舶種類別の発生状況(平成29年)	1
1.3 船舶種類別の死亡・行方不明・負傷者の状況(平成29年)	2
2. 運輸安全委員会ダイジェスト「船舶事故分析集」	
2.1 第29号「遊漁船の衝突事故防止に向けて」	3
2.2 第32号「楽しいレジャーに潜む事故！」	20
～バナーボートなどの浮体をえい航中の事故が急増、ジェット噴流による死傷も～	
3. 地方事務所における船舶事故の分析	41
3.1 地方事務所における管轄区域	41
3.2 地方事務所における船舶事故の分析	41
(1) 仙台事務所	42
衝突事故に関係した漁船の6割が相手船に気付かずに衝突しています。	
～漁船が関係した船舶同士の衝突事故の状況	
(2) 横浜事務所	47
早期発見！ 機関室の浸水事故の防止に向けて	
～機関室ビルジ液面高位警報装置の有効活用を～	
(3) 広島事務所	52
瀬戸内海では、居眠りによる乗揚・衝突事故が多発しています。	
(4) 門司事務所	57
ほら、あなた、転覆しますよ！	
～転覆事故はなぜ起きたのか～	
(5) 長崎事務所	64
①安全な旅客輸送のために	64
～九州西岸における旅客負傷事故の分析～	
②平戸瀬戸 夜間、北航船が田平港の防波堤に衝突する事故が	70
後を絶ちません！	
(6) 那覇事務所	75
なくそう！潜水者・遊泳者との接触事故	
～ダイビング及びシュノーケリング中に発生した小型船との接触事故～	

**運輸安全委員会
船舶事故分析集**

(平成 30 年度版)

～船舶事故調査から得た教訓～

平成 31 年 3 月 25 日 印 刷

平成 31 年 3 月 28 日 発 行

監 修 運 輸 安 全 委 員 会

東京都千代田区霞が関2の1の2

編集兼
発行者

公益財団法人

海難審判・船舶事故調査協会

東京都千代田区麹町 4 - 5

(海事センタービル 5 階)

U R L : <http://www.maia.or.jp/>

E-mail : kaisin-f@maia.or.jp